



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを「職員の仲間」という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第48号

2022年1月26日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

石浜西小学校 木村SPの笑顔

1月26日、石浜西小学校の木村SPに会いに行きました。木村SPは現在大学2年生。2学期に大学の授業の一環である「学校体験活動」で数日間この石浜西小学校でボランティア活動をしていました。その後、「自分の母校でもあるこの学校で、ぜひウィークリーSPとしても活動を続けて勉強したいです!」と木村SP自ら申し出をしてくれて、2学期の後半からウィークリーSPの仲間に加わってくれました。やる気満ち溢れるSPさんです。

この日の大放課、外で子どもたちとなわとびをしてきていました。「先生、こっち来て!」「これ見て!」「これ先生と一緒にやりたい!」と子どもから大人気の木村SP。物腰が穏やかな木村SPですが、子どもたちとなわとびをしている時はとても楽しそうに満面の笑みで接してくれていました。子どもと接する時の木村SPの自然な笑顔はとても素敵でした。この笑顔はきっと大きな武器になるはずです。子どもたちの表情からも、普段から木村SPがどれほど優しく接してくれているかが伝わってきました。

4年生の算数の授業の支援の後、「授業中、どのくらい子どもたちに関わってよいのか迷うことがあります。」そんな話もしてくれました。きっとこれ、どのSPさんも同じことを思っているのではないのでしょうか。(私自身、現役SP時代に常に考えていました。)その悩みや迷いも含めて貴重な学びですが、SPさんたちにはぜひ子どもたちともっともっと積極的に関わってもらえたらと思います。「現場経験」「現場感覚」を養うには、子どもたちと関わるのが一番です。自分の声かけで、支援で、子どもたちがどんな姿になったのか。この言い方で、伝わるのか伝わらないのか。子どもとの関わりの中でしか学ぶことができません。そして、「子どもの姿から見よう」とする人にしか得られない学びです。子どもたちとたくさん関わるができるのが、東浦町のSP活動です。安心してたくさん関わっていってもらえたらと思います。

まもなく2月に入り、大学は春休みに入る頃でしょうか。大学の春休み期間、4年生は4月からの新生活に向けて最後の準備をする時期、3年生以下はいろいろな経験を積むことができる時期です。ぜひ東浦町のSP活動に参加をして、自らのステップアップに繋げてもらえたらと思います。多くのSPさんの参加をお待ちしています。(※「まずは感染予防対策を」「自身の健康チェックを万全に」という気持ちで普段から気を付けて取り組んでくれているSPさんばかりです。これからも引き続きよろしくお願いします。)

